

知識や経験
を活用しませ
んか？

やってみませんか？

市民協働事業

みんなが進めるまちづくり

「市民協働」によるまちづくり。

よく耳にするようになりまし。全国のたくさんの方で「市民協働」を合言葉にまちづくりが進められています。

今月の焦点では、千歳の「市民協働」への取組状況と平成24年度から新たに取組む協働事業について紹介します。

市は、市民の皆さんや市、企業など千歳に関わるみんなが協力してより住みよいまちにする「市民協働」によるまちづくりを進めています。

市は、平成19年に「みんなが進める千歳のまちづくり条例」を定めまし。条例では「住みよさを実感し、誇りを持てるまち」を目指して、市民の皆さんや市民活動団体、事業者、市が

手をとり合ってまちづくりに取組むこととしています。

この条例では、まちづくりを進めるひとつの手法として「協働事業制度」を設けています。これは、市民活動団体が得意とする分野で、市と協力してまちづくりにつなげるさまざまな事業を行う制度です。英会話や写真撮影など市民活動団体の特技がまちづくりに活かされています。

市民協働によりさまざまな分野で市民活動団体が活躍しています

これまで「協働事業制度」により行われた事業は18件。市民活動団体の力でまちづくりは着実に進んでいます。昨年度はつぎの事業などに取組みまし。

《市内石碑石像調査事業》

千歳文化財保護協会が市埋蔵文化財センターと協働し、市内にある石碑や石像を調査して調査結果を冊子にまとめまし。

【上】市内石碑石像調査事業。石に刻まれた歴史を発見できまし。

【下】小学校英語学習事業。生きた英語にふれることができまし。



団体もつ専門的な知識を活かした調査により千歳の歴史再発見につながりまし。

《小学校英語学習事業》

千歳ボランティア通訳クラブと教育委員会が協働し、小学校の総合学習の時間に英語学習を行いました。

団体もつ高い英語力と広い国際的視野で子どもたちの英語への関心が高まるとともに、外国への理解が深まりまし。

だれもが気軽に「市民活動団体」

ができる